

7 実績～メディアテーマ掲載・講演・制作物ほか



1) メディア掲載・原稿執筆

・[連載]2019.10～ 月刊みんなねっと 表紙

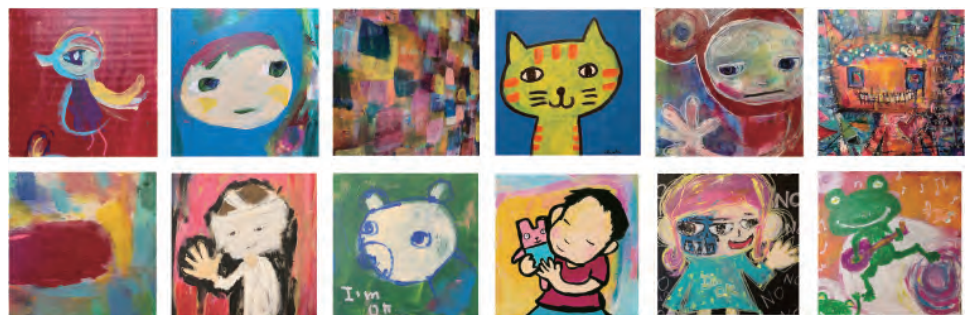
第2回やなせたかし文化賞ページ
選定委員のみなさまのコメントも
掲載されています。とても励ま
されました。



- ・2022.9.20 東京新聞 自分の気持ち、カードで伝えて
「からだ」「こころ」など75の言葉をイラストに さいたまの NPO 法人が制作
- ・2022.9.8 読売新聞高知版「やなせたかし受賞者展 さいたまの NPO 子どもの心情 絵で表現」
- ・2022.9.3 読売新聞「病の親持つ子 癒やす絵本」
- ・2022.8.18 東京新聞「多彩で優しい表情ずらり 大宮で障害者支援 NPO 絵画展 高次脳機能障害解説
パネルも」
- ・2022.8.18 埼玉新聞「高次脳機能障害知って」21日まで大宮図書館で絵画展
- ・2022.6.30 読売新聞「悩む若者 アプリで支援 LINE の相談窓口＊困りごと対処法紹介」
- ・2022.5.7 東京新聞 子どものあした・かつてのヤングケアラーから今しんどいあなたへ(下)「きみの
せいじゃないよ」精神疾患の親とその子を支援「ぶるすあるは」
- ・2022.5 鹿児島読売テレビ「ヤングケアラーについて」のページにサイト掲載
- ・2022.4.23 浦和経済新聞 浦和のカフェでミニ絵画展「どんな気持ちも大丈夫」と伝えるクッキーも
- ・2022.3.30 大宮経済新聞 「さいたまで精神障がいのある親子支援する団体、やなせたかし文化賞大賞を
受賞」
- ・2022.3.28 こここ 個と個と一緒にできること。福祉をたずねるクリエイティブマガジン 10代の「悩み」
「不安」に寄り添う事典アプリ『おたすけことてん』誕生。親子で支援してきた〈ぶるすあるは〉が制作
- ・2022.3.18 J-WAVE 81.3FM「JK RADIO TOKYO UNITED」出演
- ・2022.3.10 NHK-FM「ひるどき！さいたま〜ず」電話出演
- ・2022.3.10 毎日新聞 やなせたかし文化賞「ぶるすあるは」が大賞 さいたま市の NPO 法人
- ・2022.3.2 埼玉新聞 一人じゃない 伝えたい 子ども応援の絵本制作 やなせたかし賞の「ぶるすあるは」
- ・2022.3 月号 STORY「私たちの CHALLENGE STORY」チアキのインタビュー記事が掲載
- ・2022.2.6 高知新聞 やなせ賞大賞「ぶるすあるは」
- ・2022.2.6 読売新聞 やなせ文化賞にさいたま NPO
- ・2021 女も男も No.138「ヤングケアラー」
- ・2021.11.28 朝日新聞埼玉版 ケアラーの現在地 3「一人じゃない」気持ち楽に

2) 定期刊行物

- ・親がこころの不調をかかえたときの子どもと親のケアガイド（ぶるすあるはのチラシ）
2022 年秋冬号／2022 年夏秋号＊A3 両面



公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）は、精神に障がいのある方の
家族が結成した団体です。月刊誌の表紙連載も3年を過ぎました。ときどき、絵の感想を
いただくことがあり、嬉しいです。チアキ

3) 講演など () は参加者概数

- ・2022.9.13 さいたま市シニアユニバーシティ (25)
- ・2022.7.25 さいたま市教育委員会学校カウンセリング応用研修 (22)
- ・2022.7.8 兵庫県社会福祉士会 研修会 (30)
- ・2022.6.18 第32回 SAFER 研修プログラム (40)
- ・2022.6.4 一般社団法人ケアラーワークス 設立記念オンラインフォーラム 特別講演「絵本や情報を通してヤングケアラーを応援する」(50)
- ・2022.5.24 シビックテックさいたま (20)
- ・2022.4.30 埼玉県立大学 研究開発センターHプロジェクトで活動紹介 (80)
- ・2022.3.16 YCAD2022(ヤングケアラーアクションデー) 啓発シンポジウム あなたとともに、ヤングケアラーのより良い暮らしを支える 第二部登壇 (220)
- ・2022.2.5 こそだてはゆるっとで大丈夫 善前公民館講座 (10)
- ・2022.1.28 埼玉県地域包括ケア推進セミナーで活動紹介 (30)
- ・2021.12.22 佛教大学 児童福祉論講義 (150)
- ・2021.12.22-2022.1.11 埼玉県令和3年度依存症フォーラム@動画配信 (700)
- ・2021.11.30 さいたま市シニアユニバーシティ (15)
- ・2021.11.19 さいたま市子ども家庭総合センター (40)
- ・2021.11.5「感覚のちがい」「もののとらえ方のちがい」ってなんだろう？ー感覚過敏を探検する【本の街で、こころの目線を合わせる トークイベント】(68)
- ・2021.10.14 さいたま市教育委員会 SSW 研修 (35)

4) イベント出展

- ・2022.9.7-2023.2.6 第2回やなせたかし文化賞・受賞者展@香美市立やなせたかし記念館
- ・2022.8.15-21 ぶるすあるは絵画展&高次脳機能障害って？(さいたま市高次脳機能障害啓発事業)
- ・2022.3.22-4.24「ぶるぶるもぐもぐ絵画展」@マールテラス
- ・2021.12.4-5 日本子ども虐待防止学会第27回学術集会かながわ大会@ハイブリット形式 (3,500)

5) 制作コラボレーションほか

- ・薬物依存症回復プログラム『CHANCE』リーフレット作成
- ・江戸川区児童相談所とコラボで作成『まるっと応援ワークブック』
- ・NPO 法人子ども・若者センターこだま ログイラスト作成
- ・ギャンブル等依存症の治療・家族支援に関する研究』の分担研究班『問題解決しない事例検討会ハンドブック』イラスト・編集協力
- ・さいたま市高次脳機能障害者支援センター「高次脳機能障害 おねがいカード」イラスト・編集



『一万年生きた子ども
統合失調症の母をもって』
ナガノハル 著、現代書館



挿画も描きました

『科学から理解する
自閉スペクトラム症
の感覚世界』
井手正和著、金子書房

8 活動・制作いろいろ

「子ども虐待に関する文献研究 親の精神疾患と子どもの育ち」

子どもの虹情報研修センター 2020 年度研究（研究代表者名 長沼 葉月（東京都立大学））
チームクリフ（精神障がいのある親と暮らす子どもへのチーム学校を基盤とした支援モデルの
開発研究会）のメンバーとして協力。ぷるすあるはは、『親が精神疾患をかかえている子どもの
体験にふれられている絵本』を担当しました。

『まるっと応援ワークブック』

『ゆるっとこそだて応援ブック』（ぷるすあるは）を
ベースにしたワークブックです。
江戸川区児童相談所とコラボで作成しました。
ダウンロードして活用できます。



『問題解決しない事例検討会ハンドブック』

「ギャンブル等依存症の治療・家族支援に関する研究」の分担研究班作成。
イラスト・編集で協力しました。

「こんな風に考えたことはありませんでした」
「そんな視点があったとは！」
「そんな見方もありますね」



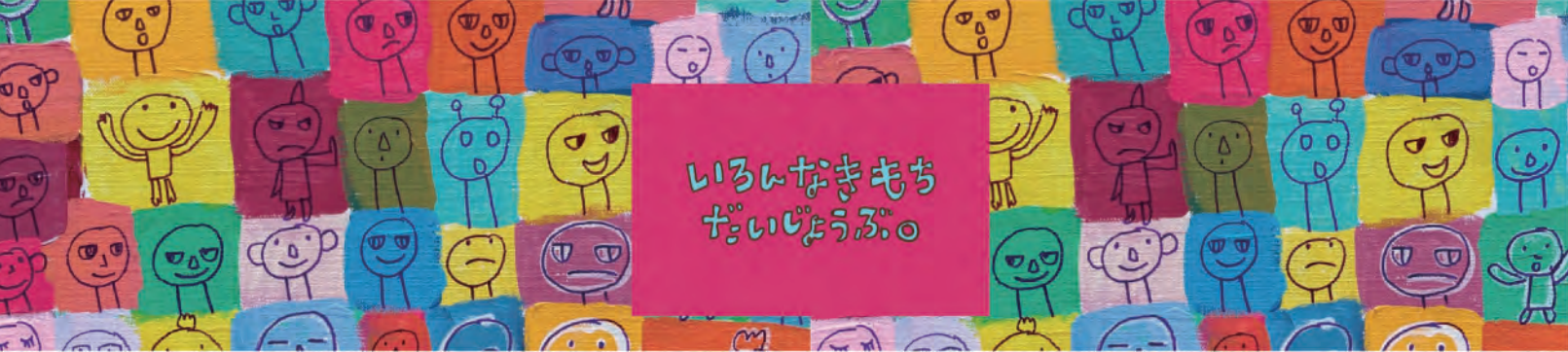
ぷるす文庫の分館



大宮に 2022 年にできたシェア本棚「ハムブック」
の一棚を借りました。
試験的な取り組みですが、ぷるすあるは開設時からの
メンタルヘルス関連の蔵書を定期的に入れ替え
ながら置いて、閲覧貸出できるようにしています。
絵本の販売もあります。

ご寄付で活動をささえていただきました。ありがとうございます。

毎月のご寄付をいただいているみなさま、BGC 証券会社様、ByteDance 株式会社様
公益社団法人日本フィランソロピー協会様「誕生日寄付」でご寄付いただいたみなさま
個人、法人団体でご寄付いただいたみなさま



9 さいたま市絵画展レポート

ーぷるすあるは絵画展＆高次脳機能障害って？ー

2022年8月15日-21日、さいたま市高次脳機能障害者支援センターと共催でさいたま市立大宮図書館にて開催しました。

昨年にひきつづいての開催です。

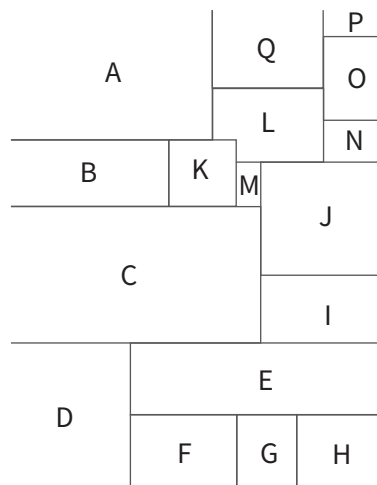
今年は、壁側、通路側、いずれのパネルも取り払い、開放感あふれる展示構成にしました。アクリル絵の具の作品がおおよそ50点、絵本の原画のレプリカが22点。そして立体作品。光が入る明るい空間のなかにチアキの作品が映えました。高次脳機能障害クイズ企画（缶バッジ / シールの参加賞つき）とも相まって、立ち寄りやすい雰囲気イベントになったと思います。

会期中、2,000名をこえる方に展示をご覧いただきました。

去年はできなかった「工作室」（リアルぷるす工房）もオープンし、子どもも大人も、思い思いに楽しく過ごしていただけたように思います。

絵を楽しんだり、何かを感じたり、必要な情報を得たり、そういう機会になっていたら幸いです。お越しいただいたみなさま、開催に尽力くださったみなさま、画面の向こうから見守ってくださったりエールを送ってくださったみなさま、ありがとうございました。

今年もご協力いただいた、さいたま市立大宮図書館さまへ、ありがとうございました。



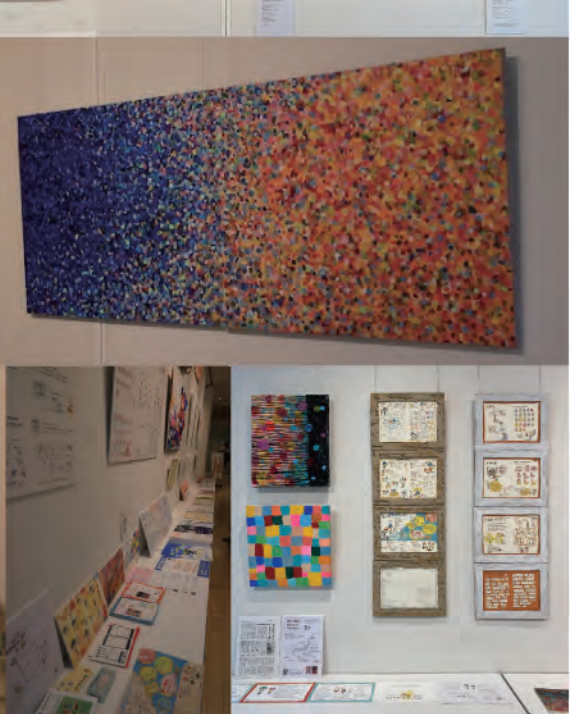
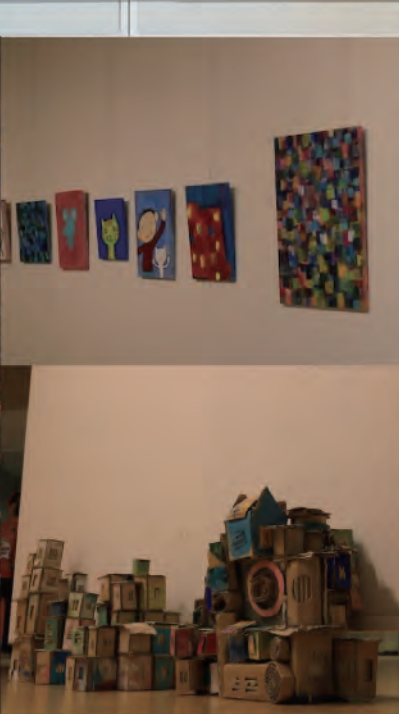
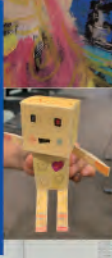
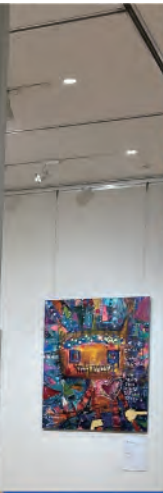
- A いろんなきもちだいじょうぶ
- B 外までぬける展示空間
- C ディープゾーン
- D No!
- E ドットは未来へGO
- F ダンボールの街
- G 情報コーナー
- H 子ども・子育て応援シリーズ
- I ぐるぐるとぐるぐるとのこども時間
- J いろんなきもちだいじょうぶ
- K 今年はトラ（ネコ）さん
- L No!（うらはらなきもちあるある）
- M クラフトロボット
- N リアルぷるす工房
- O めりえコーナー
- P コンディションカード新発売
- Q 参加賞は缶バッジとシール

ぷるぷる
もぐもぐ
かいがてん

2022.3.22-4.24
10周年にあわせてマープルテラス
でミニ絵画展を行いました
（NPO 法人ぷるすあるは＋
NPO 法人クッキープロジェクト）



第2回やなせたかし文化賞・
受賞者展（2022.9.7-2023.2.6）
のレポートは、第9期の事業
報告の中で紹介します



9 役員・スタッフからのひとこと



新しい企画が動いています。
丁寧にものづくりをやっていこう
と思います。チアキ

やなせたかし文化賞受賞者展に行ってきました。
ぷるすの絵本がショーケースに並べられ、違った
角度から原画を見てきました。
1枚1枚の色使いや筆の流れ等、細かい部分まで見
ることができ、勝手ながら、作者の想いも肌で感
じ取ることができました。
やなせたかし記念館関係者の皆様と、10年間ぷる
すの活動を支えてくださった皆様に改めて感謝し
た1日でした。

副代表 吉岡幸子



活動が円滑に行えるよう、微力な
がら第9期も頑張ります！
事務担当 yuko

いつも温かいご支援・応援誠にありがとうございます。
本年度も引き続きよろしくお願いいたします。
アドバイザリーサポーター
芦高



似顔絵をリニューアルしました。

チアキも、紙→デジタル化が進んでいて...最近のお絵かきはタブレットが中心です。
絵本制作は、久々の、イラストボードにアクリル絵の具です。

今年はやなせたかし文化賞受賞というとても喜
ばしいニュースがありました。団体としても、
一個人としても愛と勇気を持って、安心と希望
をみなさんに届けていきたいと思います。

監事 池山



10周年という節目の年をご一緒できて
光栄でした。11年目も変わらず、役立
つコンテンツを一つでも多く作り、
必要な人に一人でも多く届ける活動を
後押しできるようお手伝いさせていた
だきます！ 理事 林



数年前から、事業内容を見直し、選択と集中で
団体継続に重点を置いて取り組んできました。
そんななかで、今期は、新たな制作のオファ
ーをいただいたり、活動に注目していただいたり
素晴らしい賞をいただいたり... 思いがけない
展開の多い年でした。

とてもありがたいことで、このご縁を大切に、
ひとつひとつ丁寧に組み組みたいと思います。
改めて、8期をサポート・応援してくださった
全てのみなさまへ、ありがとうございました。
(事業報告も長文になりました、お読みくださ
りありがとうございました)

代表 キタノ



第9期のぷるすあるは

- ・新作絵本制作に取り組みます『ここにケガをしたら...(仮)』
- ・新作本(イラスト担当)の制作に取り組みます
- ・絵本をひろげます(絵本サポーター・学校寄贈)
※8期にいただいたご寄付を活用させていただきます
- ・いくつかの絵画展があります



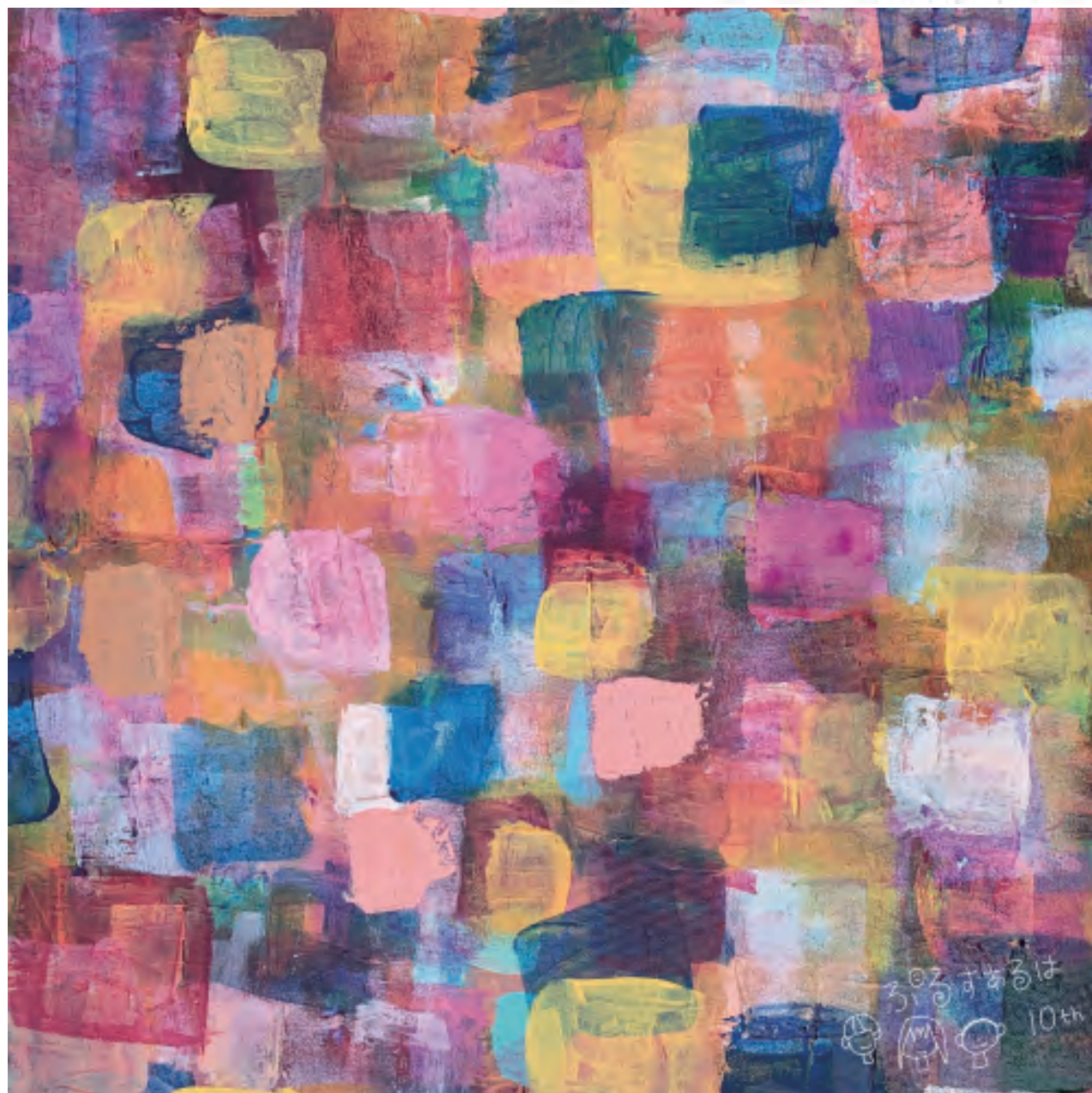
ジュン

マロン

ふ④るすあるは
10th 
ありがとうございます



お互いを尊重しながら
ちょっとだけ重なりあう
お気に入りのモザイクです



※10周年記念グッズ、和菓子屋さんの本棚プロデュースで《ステンレスボトルとハンカチ》を作りました！

ぷるすあるはの情報発信



子ども情報ステーション



オンラインストア

NEW

今動いていることがわかる
まとめページ



twitter



facebook



LitLink



youtube



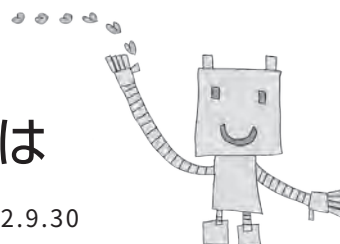
instagram
チアキの



TikTok

NPO法人 ぷるすあるは

第8期 事業報告書 2021.10.1-2022.9.30



2022年12月発行

〒338-0012

さいたま市中央区大戸 1-14-10-105

Tel / Fax 048-717-5639

<https://pulusualuha.or.jp>

